

海自と海保の協力・共同＝海自の取り組みと今後の方向性

第9回海洋安全保障シンポジウム
2022年11月29日

海上自衛隊幹部学校 戦略研究室長
1等海佐 能條 将史

(写真：自衛艦隊司令部HP)

国際観艦式・西太平洋海軍シポジウム (2022年11月6日~8日)



(写真：防衛省・海上自衛隊HP)

警戒監視活動中のP-1



(写真：海上自衛隊HP)

不審船対処訓練



(写真：海上自衛隊HP)

護衛艦と巡視船の運動要領の訓練



(写真：自衛艦隊司令部HP)

東シナ海における訓練



(写真：海上保安庁HP)

海自八戸基地で運用開始した海保シーガーディアン



(写真：<https://news.yahoo.co.jp/articles/690c69195383ca8d70b8b178780d6387>)

取り組みの方向性

➤ 各種事態への備え

- 平時からグレーゾーンの事態対処要領の整備
- 共同訓練の励行による練度向上

➤ 相互運用性の向上

- 情報共有体制/態勢の強化による効果的な任務遂行
- 施設装備の互換性確保による有機的な連携の強化

➤ 信頼関係の構築

- 人事交流の促進による信頼基盤の醸成
- 研究活動での協力による知識及びノウハウの共有

(本資料に示された見解は発表者個人のものであり、防衛省または海上自衛隊の見解を表すものではありません。)

(写真：自衛艦隊司令部HP)

予備スライド

津多羅島での訓練 (2022年11月11日)

離島上陸する事態想定 特殊訓練
尖閣諸島を念頭に



尖閣諸島を念頭に

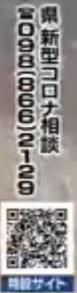
離島上陸する事態想定 特殊訓練



津多羅島
尖閣諸島の魚釣島に地形が似る



離島上陸する事態想定 特殊訓練
尖閣諸島を念頭に



陸上自衛隊・海上保安本部・沖縄県警
尖閣諸島を念頭に 外国の武装勢力
離島上陸する事態想定した特殊訓練



離島上陸する事態想定 特殊訓練
尖閣諸島を念頭に

